



平成29年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ハーツユナイテッドグループ
代表取締役社長 CEO 宮澤 栄一
代表者名 (コード番号：3676 東証第一部)
取 締 役 C F O 風間 啓哉
問合せ先 (T E L . 03-6406-0081)

特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期において、特別損失を計上し、平成29年2月17日に公表いたしました平成29年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 経緯

当社は、平成28年8月に株式会社PGユニバースを連結子会社化し、その後は同社の技術力を活かすべく、平成29年2月1日付けで当社の連結子会社である株式会社フレイムハーツ(以下、「フレイムハーツ」)と吸収合併し、両社のシナジー効果の創出に努め、第4四半期には利益貢献するなど、成長軌道への転換を着実に図って参りました。また、株式会社ネットワーク21(以下、「ネットワーク21」)に関しても、平成25年12月に連結子会社化して以降、当社グループへの利益貢献の実績を着実に重ねて参りましたが、この度、当社の会計監査人である有限責任監査法人トーマツの助言により、前向きな財務の健全性及び収益性の向上をより一層高めることを目的に、2社の株式取得時に発生したのれんの減損損失を特別損失として計上することといたしました。

(2) 特別損失(連結)の内容

(1)に記載のとおり、当社の連結子会社2社ののれん346百万円を減損損失として、また、自社利用のソフトウェア等のその他の資産において減損損失148百万円を計上することといたしました。

(3) 特別損失(単体)の内容

当社が保有するフレイムハーツ及びネットワーク21の株式について評価減を行い、関係会社株式評価損543百万円を計上するとともに、フレイムハーツに対する貸付金について、貸倒引当金繰入額267百万円、合わせて811百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想と実績値との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,677	2,013	2,074	1,207	53.95
今回発表実績 (B)	15,444	1,906	1,997	795	35.58
増減額 (B-A)	△232	△106	△77	△412	
増減率 (%)	△1.5	△5.3	△3.7	△34.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	15,011	1,963	1,958	361	15.72

(注) 平成 28 年 10 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

3. 差異の理由

通期の売上高、営業利益、経常利益は、予定していた受注案件が期ずれしたことにより、前回発表の業績予想と実績値に差異が生じました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、主に「1. 特別損失の計上について」に記載の減損損失等、合計 525 百万円を特別損失として計上したことにより、上記の結果となりました。

以上